

国産材もっと使おう

大手企業のプロジェクト協 マーク推進會創設

国産材をもっと使って日本の森林を元気にしよう。国内の大手企業で構成する日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)は8日、「国産材マーク」を公表した。企業が消費者が国産材を選びやすくなることで国内森林の再生に役立つ。同日に合わせマークを公表し、国産材マーク推進會を創設した。住友林業、タマホーム、大成建設、竹中工務店などが推進企業に名を連ねる。JAPIC森林再生事業化委員長の米田雅子氏が会長に就任。マークの対象は丸太や製材、合板、集成材、繊維板などで、国産材率を「50%以上」「100%」といった数字で表記する。使用するには、同推進會に設けた「マーク使用許諾部會」に申請書を提出し審査を受ける。



企業名 国産材 100%

同日に合わせマークを公表し、国産材マーク推進會を創設した。

同日に合わせマークを公表し、国産材マーク推進會を創設した。住友林業、タマホーム、大成建設、竹中工務店などが推進企業に名を連ねる。JAPIC森林再生事業化委員長の米田雅子氏が会長に就任。マークの対象は丸太や製材、合板、集成材、繊維板などで、国産材率を「50%以上」「100%」といった数字で表記する。使用するには、同推進會に設けた「マーク使用許諾部會」に申請書を提出し審査を受ける。

米田会長は記者会見で「良い物を普及させ、国産材を消費者が選ぶツールにしたい。国産材の需要が拡大すると、森林をよみがえらせることができる」と語った。